

【第3編 資産運用 6-22】株式分割と株式併合に関するポイント（前編）

株式分割は株価にどのような影響を与えるのか？

(1)コーポレート・アクション：株式の発行・数量に関する企業の財務上の意思決定

コーポレート・アクションの例

- ・新規上場(IPO)：非上場企業が証券取引所に新たに上場する
- ・上場廃止：上場企業が証券取引所の上場から除外される
- ・MBO：企業や経営者が既存株主から株式を買い集め経営権を握る
- ・公開買付(TOB)：あらかじめ公示した買付条件に沿って、不特定多数の株主から株式を買い集める
- ・上場市場変更：取引所の上場審査基準に沿って上場市場を変更する
- ・臨時株主総会：緊急の定款変更や資本異動などのために開催される
- ・公募増資：株式を発行し不特定多数の投資家から資金を調達する
- ・第三者割当増資：株式を発行し特定の第三者から資金を調達する
- ・株式交換：子会社の株式を親会社の株式に交換し完全親子関係にする
- ・株式分割：株式を分割し発行済み株式総数を増加させる
- ・株式併合：株式を統合し発行済み株式総数を減少させる

(2)株式分割

①すでに発行されている株式（発行済み株式）を分割する

→発行済み株式総数が増加することにつながる

②ケーススタディ

（例）発行済み株式総数が 5,000,000 株の上場企業 A

→分割比率 1：2 で株式分割

→10,000,000 株へ

→100 株保有していたかぶおくんは 200 株の保有数となる

→「割当株券のお知らせ」が案内でくる

③分割数に応じて株価もほぼ比率に応じて調整される

→保有株が倍になれば、株価は 1 株あたりほぼ株価は半分になる

④配当金はどうなる？

→会社が配当金を出す金額を減らして調整される

※配当金がそのままのケースなどもある

⑤増資では希薄化が起こるが株式分割では？

→株式分割によって保有している株式の価値が下がることはない